

令和8年度 第2学年 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心とする単元	授業改善に向けての具体的な手立て	◎ 成 果 ● 課 題
知識・技能	〈算数〉 ・ものさしを使って長さを測定したり指定された長さの直線を引いたりすることを、正確にできる児童が少ない。 ・時刻や時間を正しく読んだり、時間の計算をしたりすることができる児童が少ない。	〈教科〉 ○ 長いものの長さのたんい ○ 時こくと時間	体験活動の工夫・量感の育成 ・作図の手順を一つずつ確認しながら、繰り返し活動に取り組ませ、正確に線を引いたり図をいかたりする技能を確実に身に付けさせる。 ・休み時間や給食など、児童が時計を自発的に確認する機会を増やすことで、日常的に時刻や時間を読み取る技能を身に付けられるようにする。	
思考力・判断力・表現力等	〈国語〉 ・読み取りの際に、単純な感情のみの表現に留まることが多く、表面的である。また物語から逸れた想像で話を作ることがあり、正しい読み取りが難しい児童がいる。	〈国語〉 ○ きつねのおきやくさま ○ わにのおじいさんのたからもの	語彙を増やす活動・根拠をもった心情の読み取り ・「言葉ノート」の活用を通して、感情を表す言葉を増やし、表現の幅を広げる。 ・本文や挿絵のどこからそう考えたのか、根拠を明らかにして考えをもたせるための指導を続け、それを説明できる力を養う。	
学びに向かう力・人間性等	〈全教科〉 ・自分の思いや考えをもつことができる。また、友達の考えや活動の良さにも気づき、受け入れ、認めることもできている。一方で、友達の良さを自分の活動や考えにどう具体的に生かすかを考えたり実際に取り入れることが難しい。	〈生活〉 ○ せかいでひとつわたしのおもちや 〈国語〉 ○ 町の「すてき」をつたえます	交流活動 ・発表を聞く時には、事前に『友達のよいところを見つける』というねらいを提示したり、どこがよかったのか具体的に相手に伝えたりできるように、予め相手のよいところを考えながら聞くように伝えておく。また、話を聞いた後には、付箋に友達のよいところを書く活動を取り入れることで、友達の意見を受け入れ、自分の考えに生かすことができるようにする。	